

広報

かまいし



特集

身近な笑顔を守る 地域の力

日本製鉄釜石 SW 今シーズン初ホストゲーム

市民百景 — 越野杏音さん 斗葵さん —



身近な笑顔を守る 地域の力

私たちの身近にある子どもたちの笑顔。

この何気ない笑顔を守るために

陰ながら活動をしている人がいます。

イベントを通して、子どもがやりたいことを叶える人。

学校での学びの幅を広げている人。

登下校を陰ながら見守る人。

多世代が集えるような新たなコミュニティを生み出した人。

給食を通して健康を支えている人。

今回の特集では、子どもたちが安全で幸せに暮らせる

環境づくりを行う人たちの熱い想いに迫りました。

日本製鉄釜石シーウェイブスの今シーズン初のホストゲームが開催されます！
市民一丸となって声援を送りましょう！



12月28日(土)
13時 キックオフ
11時 開場



日本製鉄釜石シーウェイブス

VS

グリーンロケッツ東葛

チケット情報

()は当日料金	一般価格	ファンクラブ価格
メインS自由席	3,000円 (3,500円)	2,400円 (2,800円)
自由席	2,000円 (2,500円)	1,600円 (2,000円)
自由席ともチケット割 (大人2枚セット)	3,500円	—
車いす席	1,500円 (2,000円)	1,200円 (1,600円)

小中学生
無料

70歳以上
身分証明書の
提示で無料



詳細はこちら

アクセス情報

三陸鉄道などの公共交通機関をご利用願います。車でお越しの場合は、スタジアム付近の駐車場をご利用ください。



無料シャトルバス

釜石駅 ⇄ うのスタ

時刻表はこちらから▶



12時頃 西側フードコーナー付近



桜舞太鼓・鼓舞桜会

釜石を代表する創作太鼓の
迫力あるパフォーマンス

13時45分頃 ハーフタイム



ちあ釜フラッグパフォーマンス

釜石ゆかりのサポートチーム「ちあ釜」
によるフラッグパフォーマンス

15時頃 試合終了後 メイングラウンド内



ラグビーのまち釜石教室

気軽にラグビー体験ができます
詳しくは、日本製鉄釜石シーウェイブスの
ホームページをご覧ください。

11時～15時30分



うのスタ・フードコーナー

約30店舗が大集合！ 飲食しながら
試合を楽しもう！

問い合わせ 市スポーツ推進課 ☎ 27-5712
チケットに関する問い合わせ 日本製鉄釜石シーウェイブス ☎ 22-1173



かまっこまつりに
参加する皆さん

こどもスタッフ



甲子小6年
鈴木 楓さん 柏館 夕奈さん

かまっこまつりは、違う学校でも仲良く、みんなで協力して一つになることができます。いろいろな人がさまざまなアイデアを持って、共有できるところが楽しいところです。



学生サポーター



釜石中1年
大井 虹色さん 櫻井 真衣さん

今まで大人や学生サポーターに見守られて、こどもスタッフとして参加していましたが、今年から学生サポーターとして参加しています。みんなの楽しそうな姿を見ると、嬉しいです。

親子で参加



三浦 綾さん 三浦 杏さん

地域とつながり協力して成し遂げることで、子どもたちの自信や達成感に繋がっている姿を見ると、子どもたちの成長やパワーを感じます。私も楽しみになっていて、大人も子どもも楽しめる場です。



かまっこまつり事務局
岩城 一哉さん

私は平成27年11月から「かまっこまつり」に携わり、子どもたちの「やりたい」と想う気持ちを大事に取り組んできました。学校以外の場所でもやりたいことをやってみるという経験ができるのは貴重だと思いますし、そこには子どもたちだからこそ「かまっこまつり」が一つの居場所になっていると思います。この居場所をどう継

一つの居場所として
継続させていくために

「継続していくのが課題でもあり、支える大人も大事だと思っています。こどもスタッフとして参加していた小学生が、中学生、高校生と成長し、学生サポーターとして参加する姿を見てきて、自分たちがやってきたことは間違っていないんだなと実感できました。小学生の頃の楽しかった経験があるから、中・高校生になっても「かまっこまつり」に関わり続けてくれると思いますし、その思いが地域のためにつながっていけば嬉しいです。保護者から「普段見られない子どもの姿が見れて嬉しかった」という声もあり、一緒に成長しながら楽しく活動しています。子どもたちには、自分で考えて行動できる人になってほしいと思いますし、これからも地域と関わり続けてほしいです。」



日時 2月9日(日) 12時30分～15時
場所 釜石市民ホールTETTO
ホールB・ギャラリー
内容 香水とキャンドル、スライムづくり体験、ハッピーミッションゲーム、古着屋、くじ引き屋、射的屋など



インスタ



地域で子どもの
「顔が見える関係」を

震災後の子どもたちの居場所づくりを目的に平成25年11月から「かまっこまつり」が始まりました。当時は、子どもたちがのびのび遊べる環境がない中で、子どもたちの声を気にする周囲の心無い言葉を耳にすることもありました。地域で子どもを育むためには、顔の見える環境づくりが必要だと考え、地域とつながり、



かまっこまつり事務局
山口 未来さん

子どもたちのやりたいことを実現させたおまつりがあればという思いがきっかけでした。最初は、鶴住居地区と栗林地区の2地区で開催していましたが、昨年は釜石市民ホールTETTOで開催して、たくさんの人に参加していただきました。学校を問わず子どもたちが触れ合うようになって、家でも学校でもない一つの居場所になっているように感じます。参加している高校生から「将来は地域に関わる仕事がしたい。『かまっこまつり』で地域の人と関わる場を作ってもらい、たくさんの人と触れ合ってきた経験が自分の基礎になっている」と言われたことがありました。本当に嬉しかったです。これからも子どもたちが成長していく姿を見守っていきます。



専用通貨「かまっこコイン」
来場者は受付で「かまっこコイン」をもらって買い物を楽しめます。コインを使い切ったら、お店を手伝うと報酬としてコインを得ることができ、楽しく学ぶことができます。



子どもたちの「顔が見える」を合言葉に開催してきた「かまっこまつり」。お店担当の「こどもスタッフ」とサポーターの「学生サポーター」が主体となり、放課後子ども教室に携わる大人たちが影ながらサポートし、かまっこまつりを運営しています。今回は、2月9日(日)の開催に向け、準備を進める皆さんの声と子どもたちのやりたいことを叶える活動に迫ります。

子どもたちのやりたいことを実現させたおまつりがあればという思いがきっかけでした。

最初は、鶴住居地区と栗林地区の2地区で開催していましたが、昨年は釜石市民ホールTETTOで開催して、たくさんの人に参加していただきました。学校を問わず子どもたちが触れ合うようになって、家でも学校でもない一つの居場所になっているように感じます。

参加している高校生から「将来は地域に関わる仕事がしたい。『かまっこまつり』で地域の人と関わる場を作ってもらい、たくさんの人と触れ合ってきた経験が自分の基礎になっている」と言われたことがありました。本当に嬉しかったです。これからも子どもたちが成長していく姿を見守っていきます。



多様な経験を子どもたちに 地域と学校をつなぐ橋渡しに

地域学校協働活動は、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する活動として、平成29年3月の社会教育法の改正により、法律に位置付けられました。市は、地域と学校をつなぐ役割を果たす「地域コーディネーター」を各学校に配置し、この活動を推進しています。今回は、市内で活躍する2人のコーディネーターにお話を聞きました。

魅力的な体験を
届けるために

釜石小学校
地域コーディネーター
寺田 恵美子さん



釜石小では、地域学校協働活動として、わかめの種付け体験などの漁業体験や野菜作りの農業体験、郷土料理作り、味噌作り体験などを行っています。

私が学校と地域を結ぶ活動を始めたのは、平成20年度からです。元々主任児童委員として活動しており、当時の校長先生の教育プログラムと文科省のコンセプトに共感して、その活動なら私にもできるかもと思ひ引き受けました。

地域の皆さんに協力していただくまでは大変なこともありましたが、子どもたちができるだけ多くの職業や地域独自の魅力的な活動に触れ合ってもらえればと考えています。子どもたちには、この地域協働活動を通して、郷土愛を育んでもら

いたいなと考えています。進学や就職で釜石を出てしまう子が多いですが「釜石の魚はおいしかったな」「そういう釜石でこんな体験をしたな」と思い出してもうれしそうです。

私自身、子どもたちと触れ合うことが楽しいので、この活動を続けています。私は盛岡出身なので、子どもたちに混じって体験をしていけると誰よりも私が新鮮な気持ちで体験をしているのでは？と思う時もあります（笑）

これからも心豊かな子どもを育むために、できる限り活動を続けていきたいです。

自ら考え自立し

挑戦できる大人に

小佐野小学校
地域コーディネーター
菊池 悦子さん



数年前まで約40年間にわたり、学校の養護教諭として働いていて、退職後も何らかの形で、教育現場のサポートができないかなと思ひ、2年前から地域コーディネーターとして小佐野小で活動を始めました。子どもたちの成長を間近で見れるのが楽しみだし、子どもと関わっていると毎回新鮮なことの連続で、やりがいもあります。

小佐野小では、地域協働活動として図書ボランティアや毛筆・授業支援、校外学習への引率補助などの取り組みを行っています。中でも「小川しし踊り保存会」の皆さんに協力いただひて伝統芸能の活動に力を入れていきます。この活動は、旧小川小との統合時に小川小で行ってきた取り組みを

引き継ぐ形で始まったもので、現在は5・6年生が運動会での踊りを披露しています。初めてしし踊りに挑戦する子が多いのですが、子どもたちの中には、この活動をきっかけに保存会に入る子もいて、楽しく伝統芸能に親しんでもらっているのかなと感じます。

活動で意識していることは、学校生活を楽しんでもらうのはもちろん、困難を乗り越える力や協調性など、社会性を身に付け、将来自立した人になってほしいなと思っています。また、挑戦することも大事にしてもらいたいです。

私もこの活動やさまざまな社会貢献を通して、挑戦を続けていきます。



毛筆の授業でも、地域ボランティアの人がサポートとして入り、書き方の指導を行っています。



「小川しし踊り」の学習。地域の伝統芸能を継承する意味合いでも重要なものになっています。



漁業体験では、わかめの種付け体験を通して釜石の主要産業である「漁業」を学びます。



農業体験では、自らの手で育てた作物をバザーにて対面販売の体験をしています。

子どもたちの安全・安心 を見守る地域の目

市内では、子どもたちがいつもと変わらぬ日常を送れるよう、陰ながら子どもたちの登下校を見守っている人が多く活動しています。その中でも長年にわたり活動しているのが菅原さんと佐藤さんです。「子どもたちが安全・安心に登下校できるような」という2人の言葉から、子どもたちを優しく見守る温かさが伝わってきます。

子どもたちを守る青い光

釜石市防犯協会 副会長

菅原 武さん



私は青色防犯パトロール（通称・青パト）の活動を始めて約20年になります。青パトは、自動車に青色回転灯を装着して、地域の自主防犯パトロールを行う活動です。きっかけは、平成17年12月に唐丹町で誘拐事件があり、このような事件を二度と起こさないために、地域みんなで子どもたちを見守ろうという思いでした。人通りが少ない道や裏通りなど一人で下校している子どもいるのでパトロールや看板を設置するなど、子どもたちが安全・安心に下校できるように心掛けています。毎月第4金曜日には朝のあいさつ運動に参加した

子どもたちを見守り続けて41年

釜石市交通指導隊 隊長

スクールガード リーダー

佐藤 鉄太郎さん



現在は、釜石市交通指導隊の隊長とスクールガードのリーダーとして、子どもたちが安心して登下校できるように活動しています。交通指導隊の活動は、昭和59年から始めて、今年で41年目になります。長年自宅がある平田を拠点に活動していましたが、数年前から交通指導隊員が街中で不在のため、現在は家を6時に出発し大町の工藤歯科の前で子どもたちが登校する姿を見守っています。最初は横断歩道を渡るときに左右を確認することができない子どもいましたが、最近では交通マナーもすごく良くなったし、みんな顔も覚え

り、夜は駐在所の方と一緒に巡回をしているので、子どもたちともすっかり顔なじみです。

パトロールしていると子どもたちが元気づく挨拶をしてくれます。10円を拾ったとか日常の些細なことでも気付いたら報告してくれるようになりました。

小学生の頃、泣き虫だった女の子が今では3人の母になっていたり、高校生の頃、やんちゃだった男の子もすっかり大人になっていたり。そんな子どもたちの成長を見守ることがやりがいになっています。これからも子どもたちの成長と地域の安全を見守ってまいります。

てくれ、子どもたちから元気にあいさつしてくれれます。

スクールガードは、平成18年にリーダーになりました。震災直後は、不審者が多くなった時期もありました。現在は不審者の目撃情報はあまり多くないですが、子どもたちにもなるべく複数で帰るように呼びかけを行うとともに、私も見守りを続けています。

私が長年こうした活動を続けて来られたのも、家族をはじめ周りで応援してくれる人があってのものです。今後でもできる限り子どもたちの生活を見守っていきたく思います。



いつも私たちの安全を守ってくれてありがとうございます。信号の無い横断歩道でなかなか車が止まってくれず困っていた時に、パトロールしている青パトが止まってくれて、安心して横断歩道を渡ることができました。

(左上から) 甲子小2年

山田 光葉さん、村上 希佳さん

(左下から) 中村 莉愛奈さん、畠山 芭月さん、森 奏心さん



スクールガードや防犯隊員の皆さんのおかげで、安心して登下校ができています。あいさつをすると、いつも笑顔で話しかけてくれるのが嬉しいです！これからもよろしく願います。

(左上から) 釜石小3年

矢野 慎士さん、千葉 結月さん、山元 一成さん

(左下から) 2年 櫻庭 えまさん、川村 奏音さん

子どもの笑顔がやりがいに 地域で作る子どもの居場所

全国的に広がりを見せる「子ども食堂」。市内では昨年度から取り組みが始まり、これまで小佐野、平田、甲子、鵜住居の4地区で実施され、他の地区でも準備が進められています。いずれも「地域に子どもが安心して集まれる場所を」というコミュニティ作りの視点が入り入れられており、釜石鉱山(株)や阪神低温(株)などの民間企業からも食材提供を受けるなど、取り組みの幅が広がっています。今回は、小佐野地区と平田地区の皆さんにお話を聞いてきました。



平田にこここ食堂の皆さん
前列中央：藤澤 静子 会長

平田地区で「地域住民や子どもたちとの交流の場を作ろう」と令和6年3月に市内で2例目となる子ども食堂「平田にこここ食堂(通称・ここ食)」を始めたのは「平田いきいきサークル」の皆さん。
会長の藤澤静子さんは1回目の開催を「初めは不安を感じるメンバーもいましたが『まず1回やってみよう』と声をかけ実施しました」と振り返ります。
取り組み後の変化を聞いてみると『「あっ!」にこ食のおばちゃんだと子どもたちから話しかけられるようになった。やはり子どもたちの笑顔を見ると私たちも元気になる」と

来てくれた人も私たちがみんなが楽しめる場所を

「楽しさ」と「安心」
両方を感じられる場所を



こさのこどもワイワイ食堂
伊東 恵子 会長 金子 敬子 事務局長

「この取り組みをきっかけに、地域活動が活性化されてきました」と語るのは、こさのこどもワイワイ食堂を運営する小佐野地区民生児童委員協議会の伊東恵子会長と金子敬子事務局長。「子どもが安心して来られるような居場所を」と令和5年7月に市内で初となる子ども食堂を始めました。「メンバーの中に栄養士や調理師もいるし、思い切っちゃってみたいと思えました。子どもたちの笑顔が身近に見られることで、やりがいにも繋がっています」と伊東さんは振り返ります。
「活動前は、地域の子どものとあまり接点が無かったのですが、やり始



子どもたちに負けじと地域の皆さんも体を目いっぱい動かします。

ます」とメンバーの熊谷さんがほほ笑みます。
にこ食のメンバーの皆さんが、企画の段階から最も意識しているのは「楽しくやること」。11月30日の3回目の開催時も、参加者の笑顔が印象的でした。「企画段階では意見がぶつかり合うこともたくさんありますが、来てくれた子どもたちや高齢者の皆さんはもちろん、私たちも楽しくやろうというゴールは共通しています。なので、終わった後はやっぱり良かったという達成感でいっぱいになります」と藤澤さんは笑みを浮かべました。
「楽しければ、また来てくれるはず」この想いを合言葉に、にこ食の取り組みはこれからも地域の笑顔とともに続いていきます。

めてからは声を掛けられることが増えました。子どもと関わるスタッフもお互いに顔が見える関係になり、距離が縮まったように感じます」と金子さんもこの取り組みの成果を振り返ります。
そういった活動が評価され、町内会や個人の方から活動費や食材などの支援を受けることも増えたと伊東さんは言います。「自分たちの活動が受け入れられていると感じてうれしいですし、活動の継続の意味でもありがたいです」
伊東会長は「子どもには『あそこに行くこと楽しい』、親御さんにも『あそこなら安心して預けられる』と感じてもらえるような居場所をこれからも工夫して作っていききたいです」と今後の展開にも意欲を見せました。



高校生も1回目から参加し、運営に協力。今後は中学生の参加にも期待を込めます。





今回の特集では、地域の立場から子どもたちの笑顔を守る人たちの想いをご紹介します。市内では、今回紹介した皆さん以外にも誰かのために頑張っている方々が多くいらっしゃいます。

一方で、人口減少や少子高齢化などの課題に伴い、地域を支えている方が減ってきていることも事実です。

今後も私たちの愛するこのまちが持続的に歩みを進めていくためには一人ひとりができることから、やり始めることがこのまちの未来を照らす大きな力となります。あなたも身近なことから一歩を踏み出してみませんか？その一歩が、釜石の未来を創ることに繋がると信じて。

【特集】身近な笑顔を守る 地域の力(完)



二本松 誠 さん

夏の暑さで今年は収穫量が減っていますが、これからも子どもたちに美味しい「りんご」を食べてもらえるように頑張るので、たくさん食べて、遊んで、勉強して元気に過ごしてほしいです。



子どもたちの健康を支える学校給食



給食の感想を聞きました！



佐々木 聖夏 さん 小笠原 輝琉 さん

今日の給食はいつもの給食と比べて最高に美味しかったです。特にみそ汁は、野菜がたっぷり入っていて大好きなので、3杯もおかわりしました。毎日食べたいぐらいです。



小笠原 幸太郎 さん

子どもたちに安心安全で美味しい「ねぎ」を届けるために農薬の使用を最小限に抑えています。

未来ある子どもたちには、釜石の食材を使った給食で、心も体も大きく成長してほしいです。

「いただきます」鵜住居小学校4年生の教室から、子どもたちの元気な声が響きます。この日の給食は、釜石産の食材を使用した特別な給食。学校給食は、栄養、安全、安心、食育の面から子どもたちを支えています。今回は、給食を支える生産者の2人にお話を聞きました。

釜石での結婚新生活を支援します



釜石市結婚新生活支援補助金



対象

- (1) 次のすべての要件を満たす人
- 令和6年1月1日～令和7年3月31日までに婚姻届を提出し、受理された夫婦
 - 夫婦ともに婚姻日時点で満39歳以下
 - 夫婦の所得を合算した額が500万円未満
 - ライフプランセミナーを受講
- (2) 令和5年度にこの補助金を受給し、受給額が補助金上限額に達しなかった夫婦

補助金額

- (1)の夫婦の場合 婚姻日に夫婦どちらも満29歳以下 上限70万円
婚姻日に夫婦どちらも満39歳以下 上限30万円
- (2)の夫婦の場合 (1)の上限額から令和5年度の受給額を差し引いた額を上限

補助対象経費とライフプランセミナーの詳細は、ホームページをご覧ください。

問い合わせ 市総合政策課 オープンシティ・プロモーション室 ☎27-8463

片岸公園 (みのすけ沼) 自然共生サイトの登録を目指します!



みのすけ沼を中心とした片岸公園では、夏にはミズアオイが咲き、冬には白鳥が飛来するなど、豊かな自然環境が特徴です。環境省では、令和5年度からさまざまな植物・生物の保全を行う場所を「自然共生サイト」として認定し、生態系の保全に努めています。

この度、環境省から「自然共生サイト」を目指す場所として、片岸公園が選定されたため、市では令和7年度の申請を目指しています。



市職員を募集します

(令和7年4月1日採用予定)

職種・採用予定人数

一般事務：5人程度
土木、保健師、社会福祉士、栄養士：各若干名

試験内容

SPI3、専門試験 (マークシート方式)
※詳細は、市のホームページをご覧ください



申込期限

1月7日(火)必着 (試験日 1月26日(日))

会場 鶴住居地区生活応援センター

問い合わせ 市総務課 職員係 ☎27-8411

かたちで遊ぼう 冬のおりんさんの工作ひろば

家や自然の中で見つけた面白い素材の形からイメージを膨らませ作品を仕上げていく、子どもたちの想像力を育むワークショップです。

講師 澤田麟太郎さん

日時

12月21日(土) 13時30分～15時
22日(日) 午前の部 10時30分～12時
午後の部 13時30分～15時

場所 釜石市民ホール TETTO ギャラリー

参加費 500円 (4歳以上) 定員 各回10人

申し込み 事前予約優先

二次元コードまたは釜石市民ホールで予約受付中



申し込み・問い合わせ 釜石市民ホール TETTO ☎22-2266

TETTO ロビーコンサート vol.6 「若き音楽家たちの響宴」

入場無料

学生たちがおくる冬休みコンサート第3弾がついにTETTOロビーコンサートデビュー! フレッシュな演奏で新春のTETTOを彩ります!

【演奏予定】○春の海

○オペラ『愛の妙薬』より「なんと彼女は美しい」
○フルートソナタ (プーランク) 他

【出演者】

鈴木七星さん (日大芸術学部1年)、佐々木悠人さん (国立音大3年)、鈴木萌々夏さん (北教大岩見沢校3年)、山田奏美さん (東京音大付属オーケストラアカデミー)、母良田遥さん (高1)、及川睦葉さん (高2)
賛助出演 山崎鮎子さん、佐々木洋子さん

日時 令和7年1月5日(日) 14時30分

場所 釜石市民ホール TETTO 共通ロビー

こどもはぐくみ通信

問い合わせ 市こども家庭課 こども家庭センター COCCO ☎22-5121

令和7年度4月

保育所等への入所申し込み (第2回目) を受け付けます

募集期間 令和7年1月6日(月)～31日(金) 8時30分～17時15分 ※土・日、祝日を除く

- 対象
- ① 1回目(11月1日～29日)に申し込みできなかった人
 - ② 市外に転出予定で、転出先で保育所などへの入所を希望する人
 - ③ 令和7年2月28日(金)までに市外から転入予定で、保育所等への入所を希望する人
※令和7年3月以降に転入予定の人は、現在お住まいの市町村で手続きをしてください
※1回目に申し込んでいる人は、手続き不要です

申込方法 「教育・保育給付認定申請書 (兼入所申込兼現況届)」と「保育所等入所申請時の児童の様子」に必要事項を記入し、保育の必要性を証明する書類を添えて、市こども家庭課にご提出ください。必要書類は、市こども家庭課で配布している他、市ホームページからダウンロードできます。



市ホームページ

ヤングケアラーって、実はけっこう身近なのかも

ヤングケアラーについて知っておきませんか?

本来大人が担うと想定される家事や家族の世話など日常的に行っているこども・若者のことをいいます。現在、中高生の約17人に1人が、ヤングケアラーとして学校生活を送っています。

ヤングケアラーは、家族の手助けをすることは「フツウのこと」や「ガマンすること」だと思っていることが多いそうです。皆さんでヤングケアラーについて知り、いつでも気軽に話せる、相談できる体制をつくり社会全体で守っていきましょう。

障害や病気のある家族のために日常的にしていること



責任や負担の重さにより、子どもたちが諦めてしまっていること



相談できる場所

学校 (先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー) や、市こども家庭センターなどに相談できます。



市ホームページ



こども家庭庁ホームページ



デザイン：石ノ森章太郎
生涯学習のマスコット「マナビイ」

まなびい 釜石

令和6年12月15日号

学びと実践が循環する生涯学習社会をめざして

No.116

発行：市まちづくり課 生涯学習係 ☎27-8454

集い 学び つながる 公民館ひろば

市内の公民館で開催している、各地区ならではの生涯学習講座やイベントの一部を紹介します。お気軽にご参加ください。

釜石公民館 ☎ 22-0180

地域の環境美化活動、陶芸教室、五葉山登山など、さまざまな講座を開催。本年度は、フランスのディーニュ・レ・パン市との姉妹都市提携30周年を記念した講座を開催しました。

【今後の予定事業】

mUsica pUisto 音楽会 うたとピアノによるコンサートを開催（令和7年3月上旬）

郷土民話教室「おらほの民話」 漁火の会による地域の民話披露会を開催（令和7年3月中旬）



フランス家庭料理教室（親子クレープづくり）

ディーニュ・レ・パン市代表団 歓迎巨大アート作成

平田公民館 ☎ 26-7655

「つながるカフェ」では、地域住民同士の交流を目的として、10月に大平中3年生による認知症劇などを行いました。

【今後の予定事業】

あったかサロン 卓球バレーやポッチャなどのニュースポーツ交流会を開催（毎月2回）

おやこのアソビバ 未就園児がいる家庭などを対象として、講座を年3回開催（令和7年2月）



つながるカフェ

おやこのアソビバ

中妻公民館 ☎ 23-5541

小佐野公民館と合同で「小佐野・中妻公民館まつり」を開催した他、子育て支援事業として「親子パンづくり教室」などを開催しました。

【今後の予定事業】

上中島児童館との交流事業 地域住民と児童による軽スポーツ交流会を開催（令和7年1月10日（金））

上中島はまゆり会 閉じこもりがちな高齢者の交流促進と食生活改善を目的に、食事会や軽運動等を開催（令和7年1月10日（金）、24日（金））



親子パンづくり教室

小佐野・中妻公民館まつり

小佐野公民館 ☎ 23-5037

普通の手芸とはひと味違う「パッチワーク講習」を初の試みとして行った他、鶴住居地区で大好評の手打ちそば団体を招いて「出張そば打ち体験・試食会」を開催しました。

【今後の予定事業】

こさのこどもワイワイ食堂 第4回こども食堂として、子どもたちの居場所づくりや交流を目的として開催（12月下旬）

音楽の力「いきいき小佐野コンサート」 音楽をととした地域住民の交流を目的に、コンサートを開催（令和7年2月）



パッチワーク講習

出張そば打ち体験・試食会

甲子公民館 ☎ 23-5524

中妻・小佐野公民館と合同で「駅伝ウォーキング交流会」「ソフトボール大会」「ニュースポーツ交流会」などを開催しました。

【今後の予定事業】

かっし健康講座 健康維持につながる各種講座を開催（毎月5～6回）

ゆう遊講座 健康・生活・防災などの講座を開催（毎月1回）



ニュースポーツ交流会

駅伝ウォーキング交流会

鶴住居公民館 ☎ 28-2470

「あつまれ！鶴住居の杜」では、心身の健康への理解を深めた他、マリンキャンドル作りを体験。「わんぱく子ども教室」では、市内小学生が、山田町の青少年の家で「アニマルハンティング」を楽しみました。

【今後の予定事業】

お～い！むかし子教室 地域住民と子ども達が、小正月の伝統行事の継承・伝承を目的に「みずき団子づくり」を開催（令和7年1月）

男の手料理教室 健康を考えたメニューで調理実習を開催（毎月1回）



あつまれ！鶴住居の杜

アニマルハンティング

栗橋公民館 ☎ 57-2111

栗林小児童とPTAを対象とした「ふるさと再発見地域学習会」や、江戸時代の俳人児島大梅が詠んだ釜石で最も古い句碑を訪ねる「史跡めぐり」、地域の名峰を楽しむ「片羽山登山」などを開催しました。

【今後の予定事業】

餅つき大会 栗林小児童・PTAで、季節の伝統行事である昔ながらの餅つき体験会を開催（令和7年1月）

里山ウォークin栗林 地区の豊かな自然や歴史に親しむウォーキングを開催（令和7年1月）



ふるさと再発見地域学習会

片羽山登山

唐丹公民館 ☎ 55-2111

季節のウォーキング、五葉山登山、虫観察会、米づくり体験、海水浴&シーカヤック体験会などを開催。また、公民館まつりでは、唐丹地域安全標語の募集や、自主グループの活動発表を行いました。

【今後の予定事業】

みずき団子づくり 小正月の行事として、大人から子どもまで集まって楽しむ体験会を開催（令和7年1月中旬）

出前公民館「あがらせん」 各地区集会所を会場として各種講座を開催（随時）



生き生き学級 公民館農園

唐丹寺子屋教室 平和の鐘を鳴らそう座禅会

令和6年度東北地区公民館連絡協議会功労者表彰

11月14日（木）にリンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール）で行われた第46回全国公民館研究集会・第69回東北地区公民館大会において、前釜石市立栗橋公民館運営審議会委員 遠野健一さんが東北地区公民館連絡協議会功労者として表彰されました。

遠野さんは、多年にわたり地域の特性と住民ニーズを的確に捉え、地域の魅力の発信や、高齢者の健康増進・生きがいの創出、子どもたちの郷土愛醸成を目的とした公民館事業の充実を図るなど、社会教育の振興に大いに貢献されてきました。また、地域の活力と魅力あるまちづくりの実現に向け、「結の便利屋」を立上げ、認知症・介護予防を兼ねた勉強会や食事会の開催、地域の困り事を支え合いで解決する取り組みに加え、健康意識増進に向けたウォーキング活動を行うなど、さまざまな社会貢献活動に尽力されていることから今回の表彰に至りました。



11月23日 第34回釜石市健康づくりの集い【市民ホールTETTO】

みんなが健康になれるように

自分の体の状態や普段の生活の中でできることを学び、みんなが健康になれるまちを目指して「健康づくりの集い」が開催しました。

今年度は「いい歯の日（11月8日）」イベントと同時開催し、慢性腎臓病や糖尿病に関するミニ講話や歯周病チェック、咀嚼能力チェックなどにより、参加した人たちの健康に対する意識が高まりました。



医師によるミニ講座



いい歯の日にちなんだポスターなどの表彰



おめでとうございます

11月26日

岩手県教育表彰 日本ボーイスカウト岩手連盟 副連盟長 末永正志 さん

ボーイスカウト活動を通して社会教育振興に貢献したとして表彰を受けました。

11月6日 市長室

観音めぐみ 様



東日本大震災を悼んで作られた「岩手夜曲」のMVが完成したため、寄贈していただきました。

11月11日 教育長室

(株)青紀土木 様



鶴住居地区の学校のために教育環境の整備を行っていただきました。

11月29日 市長室

シンクエンジニアリング(株) 様



企業版ふるさと納税制度を活用し、寄付していただきました。

ありがとうございます

11月26日 市長室

ENEOSリニューアブル・エナジー(株) 様



企業版ふるさと納税制度を活用し、寄付していただきました。また、市内の小中学生に対して学習コンテンツ付ノートを提供していただきました。

11月29日 市長室

明治安田生命保険相互会社 様



盛岡支社釜石営業所と従業員の皆さまから寄付していただきました。

11月9日・10日 海と希望の学園祭 in Kamaishi【市民ホールTETTO、釜石PIT】

東大と海を学び楽しむ2日間

当市と東京大学社会科学研究所、大気海洋研究所、生産技術研究所、先端科学技術研究センターの連携イベント「海と希望の学園祭 in Kamaishi」を開催しました。イベントでは、東京大学副学長や各研究所の所長などによる「希望の船出」をテーマにしたトークイベントや大学教授らによる各種講演、船や海にまつわる展示・工作、体験コーナーを通して大人から子どもまで学び楽しめる2日間となりました。



11月17日 マイレールDAY【遠野市】

鉄道の大切さについて考える

JR釜石線利用促進協議会は、JR釜石線を多くの人に広く知ってもらい、今後の利用促進につなげるため、住民参加型シンポジウムを開催しました。

ローカル線に関する基調講演やトークセッションが行われたほか、「新聞記事で振り返るJR釜石線ものがたり」と題した企画展示や物産フェアも開かれ、JR釜石線と沿線自治体の魅力を発信していました。



11月23日 地域づくりフォーラム【釜石PIT】

地域共生社会の実現に向けて

地域のつながりを処方することで様々な課題を解決しようとする「社会的処方」を生かした地域づくりを推進するためフォーラムを開催しました。

基調講演では公益財団法人テクノエイド協会理事長の大橋謙策さんが講師を務め、地域共生社会の実現について住民と行政が共同する大切さを伝えました。



開設10年記念イベント第4弾 第10回
かまいしこども園クリスマスキャロル

日時 12月21日(土) 9時20分～12時
場所 市民ホールTETTO ホールB/ロビー
内容 園児による聖誕劇、歌、ゲストによる演奏など
園 かまいしこども園 ☎27-8273

参加者募集 釜石市民スキーバスツアー

日時 1月19日(日)、2月16日(日)
場所 網張温泉スキー場
参加費 (バス代)
大人 7,000円
中学生以下 4,000円
園 釜石市スキー協会事務局
小川 ☎090-2793-0606

国民年金保険料がスマートフォンアプリで納付できます

国民年金保険料は、現金、口座振替、クレジットカードなどによる納付の他、スマートフォンアプリを使用した電子(キャッシュレス)決済での納付ができます。

詳しくは、日本年金機構のホームページをご覧ください。宮古年金事務所までお問い合わせください。※各決済アプリの使用方法是、ご利用の決済業者にお問い合わせください

利用に必要なもの

- ①納付書(金額が30万円を超えないもの)
 - ②スマートフォン
 - ③決済アプリ
- 園 宮古年金事務所 ☎0193-62-1963

シープラザ釜石の 冬季営業時間を短縮します

1月2日(木)～3月31日(月)の営業時間は次のとおりです。
営業時間 9時～18時
・12月31日、1月1日は休館日です
・定休日(第1・3・5火曜日)に変更はありません
園 シープラザ釜石 管理事務所 ☎31-1177

まちのお知らせ Information



東日本大震災 災害義援金の追加交付をします

交付時期 12月20日(金)
対象 第3次配分金の追加配分金の交付対象者(死亡、住家の全壊・半壊)※登録済みの口座へ振り込みますので、申請は不要です。ただし、この1年間で受取人が死亡した場合や受取口座を変更する場合は、下記担当課へご連絡ください

義援金の金額

- ①死亡または行方不明見舞金=対象者1人当たり1,550円
 - ②住家損壊等見舞金(居住している住居が全壊)=1世帯当たり1,550円
 - ③住家損壊等見舞金(居住している住居が半壊)=1世帯当たり1,050円
- 園 市地域福祉課 地域福祉係 ☎22-0177

【募集】大平墓園区画使用者

区画数 13区画(普通墓地のみ) 区画使用料 45万円(4㎡)
年間管理料 2,480円
応募資格 市内に住民登録または本籍がある人
※現在、大平墓園に墓地を所有している世帯は除きます

申込期間 12月16日(月)～1月24日(金)
申込書 市生活環境課、各地区生活応援センターで配布する他、ホームページからもダウンロードできます
決定方法 抽選で決定
抽選会 日時 2月11日(火・祝) 14時
場所 釜石市民ホールTETTO ホールB
申し込み・園 市生活環境課 ☎27-8451

「いわて消防団応援の店」を募集しています!

県内の消防団員に特典や割引などのサービスを提供する「いわて消防団応援の店」を募集しており、団員カード提示により特典や割引などを受けることができます。市内では9店舗が登録されています。

詳細は、ホームページをご確認ください。
園 市消防課 消防団係(釜石消防署) ☎22-2525



年末年始火災予防特別警戒 12月20日(金)～1月7日(火)

「守りたい 未来があるから 火の用心」

一人一人が火の取扱いに十分注意し、大切な生命と財産を火災から守りましょう。また、石油ストーブを使用する際はカーテン、洗濯物などの燃えやすい物には注意してください。

- 住宅用火災警報器を設置しましょう。
また、既に設置されている住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。
- 園 釜石大槌地区行政事務組合消防本部 ☎22-1642
釜石消防署 ☎22-2526



まもろうよ ころろ♡

保健案内板

【問い合わせ】市健康推進課 ☎22-0179

あなたが抱えているこんな悩み 相談してみませんか

- 生きていくのが辛い
- 先の見えない不安を感じる
- 生活が厳しい
- 友達がいない
- 悲しみに押しつぶされそう
- 消えたい

こころの悩みを一人で抱えていませんか。
相談窓口の一例を紹介します。この他にもさまざまな窓口で相談を受け付けています。
相談窓口や心のセルフケアなど、詳細は県のホームページをご確認ください。

- 24時間子供SOSダイヤル ☎0120-0-78310 相談内容: いじめなど
- よりそいホットライン(岩手・宮城・福島専用) ☎0120-279-226
相談内容: 暮らしの中で困っていること
- #いのちSOS ☎0120-061-338 相談内容: 心の悩み
SNSやチャットによる相談はホームページから 県ホームページ
- 岩手県精神科救急情報センター ☎019-624-6791 相談内容: 精神科救急受診
- 生きづらびっと LINEから相談
月～日 8時～22時30分(受付22時まで)

電話相談

LINE相談

問い合わせ 市健康推進課 ☎22-0179

釜石地域傾聴ボランティア 「はなみずき」

「はなみずき」は、相手の気持ちに寄り添って、じっくりとお話をお聞きします。
話すことでこころが軽くなることもあるかもしれません。
かけがえのない命を大切に
一人で悩まずに、お話ししてみませんか

傾聴ルーム「はなみずき」開設

対面による相談を再開しました。電話での相談も受け付けます。

日時 毎週金曜日(祝日除く)
13時30分～15時30分
場所 市保健福祉センター 8階
(大渡町3-15-26)
電話 ☎22-0222

相談無料
秘密厳守

気道感染症について
あり、極論すれば大半はウイルス性疾患であり、極論すれば特別な薬が無くとも栄養をとり安静を保てば数日で治ります。ただ最近乾いた咳を特徴とするマイコプラズマ感染症など他の病原菌によつて引き起こされるものもあり、今回は単に述べてみます。
咳や時に喀痰の症状に38℃以上の発熱、1分間に100回以上の頻脈、21回以上の頻呼吸、時に呼吸苦が見られる時は肺炎の可能性があり、また感染治療後三日経っても38℃以上の発熱が持続する場合にも受診した方が良いでしょう。
発熱に咽頭痛、開口障害や嚥下困難等が見られる時は扁桃炎および周囲膿瘍などから来る重篤な病態の可能性もあり、耳鼻咽喉科など医療機関を受診して下さい。
また感染性咳嗽は、結核菌や非結核性抗酸菌症など例外はありますが、自然に軽快するのが特徴です。ウイルス感染の場合は発症して10日目に約80%の人で症状が消失しますが、他に症状が改善しよ。ただ2週間以上も続く咳の場合には遷延性・慢性の咳の可能性もあり受診された方がよいと思います。
それでも一番大切なことは感染予防(うつらない、うつさない)ことです。衛生管理(手洗い、うがい、咳エチケットなど)と生活習慣(免疫力を高めるため必要な睡眠、バランスの取れた食事、定期的な運動)の改善を図りましょう。



釜石医師会
平野内科医院

平野 春人

ワンポイントアドバイス

慶弔

11月1日～30日届け出分

すこやかに ()は保護者名・敬称略

- 大字平田 城内 碧ちゃん(博人)
川向 燈生ちゃん(幸太郎)
中妻町 三浦 光葵ちゃん(隆博)
鵜住居町 小笠原 なぎちゃん(尊史)
山口 一颯ちゃん(貴廣)

おしあわせに ()は旧姓

- 甲子町 熊谷 義範さん・比菜さん(那須川)
鵜住居町 尾形 元気さん・菜摘さん(山本)

やすらかに ()は享年

- 天神町 川端 キミさん(93)
浜町 伊藤 和彦さん(69)
大町 佐野 忠雄さん(96)
平田町 松下 サツキさん(90)
戸嶋 昭三さん(97)
大字平田 八幡 富男さん(78)
中妻町 松川 遙さん(83)
浅沼 一男さん(87)
上中島町 鈴木 要子さん(92)
源太沢町 大和田 昌三さん(69)
甲子町 藤井 アキ子さん(84)
佐々木 千代榮さん(83)
狩野 しげ子さん(75)
鏑木 ヤヲ子さん(91)
津田 博基さん(83)
小原 都代さん(97)
野田 ミツ子さん(96)
猪又 静男さん(87)
阿部 誠一さん(76)
田口 善朗さん(84)
菊池 チエさん(89)
小原 智弘さん(66)
野田町 高橋 旦さん(93)
佐々木 喜一さん(89)
宮田 三佐雄さん(88)
定内町 吉川 幹夫さん(78)
小佐野町 眞壁 弘さん(87)
小川町 小原 毅さん(86)
鵜住居町 大町 恵司郎さん(84)
岩崎 忠男さん(78)
古川 チキさん(89)
箱崎町 佐々木 文子さん(89)
橋野町 菊池 文子さん(97)
唐丹町 鈴木 チイ子さん(99)
鈴木 茂夫さん(86)

※お名前の一部を常用漢字に変換している場合があります

令和7年4月入学生を募集します

放送大学は、テレビ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代の人が学んでいます。

大学説明会(予約不要・入退場自由)盛岡会場

日時 1月12日(日)、2月9日(日)、3月2日(日) 10時～11時

※説明会終了後、希望者は個別相談会に参加できます

場所 放送大学岩手学習センター(盛岡市上田3-18-8)

出願期間 第1回 2月28日(金)まで 第2回 3月1日(土)～11日(火)

資料請求(無料)・☎ 020-8550 盛岡市上田3-18-8

放送大学岩手学習センター ☎019-653-7414



12月1日号に掲載した「障がい福祉サービス事業所の施設名が変わります」の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。(誤)社会福祉法人翔友 ☎22-1630 (正)社会福祉法人翔友 ☎23-1630

Table with 2 main sections: '休日当番医・薬局(1月)' and '休日当番歯科医(1月)'. Includes columns for day, location, and phone number.

今月の納税

【固定資産税 3期】
【国民健康保険税 6期】
納期限 12月25日(水)

釜石市の人口と世帯(11月)

Table showing population and households: 男 13,858 (-50), 女 15,156 (-37), 合計 29,014 (-87), 世帯 15,407 (-52)

※()は前月比

休日納税相談

期日 12月22日(日) 9時～15時
場所 市役所税務課
☎ 市税務課 ☎27-8417

夜間納税相談

期日 12月25日(水)、26日(木)
時間 17時15分～19時15分
場所 市役所税務課
☎ 市税務課 ☎27-8417

国道283号 仙人トンネルの夜間全面通行止めを実施します

一般国道283号「仙人トンネル」の道路舗装補修工事のため、夜間全面通行止めを実施します。御不便をおかけしますが、御理解と御協力をお願いします。

※工事の進捗により、規制期間が変更となる場合がありますので、御了承ください

※規制期間中の夜間に車で遠野方面へ向かう方は、釜石自動車道を御利用ください



夜間全面通行止め日時
1月7日(火)～2月7日(金)
20時～翌5時
※昼間時間帯、土・日曜日、祝日は通行止めを実施しません

問い合わせ 県沿岸広域振興局土木部 道路整備課 ☎25-2393

各種相談

Table of consultation services including human rights, public certification, legal consultation, and pension consultation with dates and locations.

移動図書館車「しおかぜ号」1月巡回日程

Table of mobile library routes for January, listing dates and locations like 平田地区生活応援センター, 平田災害公営住宅前, etc.

釜石市立図書館<1月の休館日>

1日、2日、3日、4日、6日、13日、20日、27日、31日

※休館日の確認や図書の検索などができます→



Table of library routes for January, listing dates and locations like 双葉学童育成クラブ, 鵜住居幼稚園, etc.

☎ 図書館 ☎25-2233

市民百景

第 11 回



目指すはオリンピック選手 姉弟で共に磨く技術と心

越野 ^{あのん} 杏音 さん (10) と ^{とあ} 斗葵 さん (8)

「将来の夢は、BMXのオリンピック選手になること」と話すのは、大船渡の「TXXO BMX RACING TEAM」に所属する小佐野小4年の越野杏音さん。6月につくば市で行われた年齢別の日本シリーズ戦で全国1位を獲得し、東北勢初となる快挙を達成。11月のJOCジュニアオリンピックカップ3位で日本代表に選出された期待の星です。体験会をきっかけに競技の魅力に引き込まれ、杏音さんが7歳の頃、弟の斗葵さんと一緒にBMXを始めました。負けず嫌いな2人は共に汗を流し、切磋琢磨する良きライバル。現在日本ランキング2位の杏音さんは「BMXはレースで競い合うところが楽しい。友達と一緒にだから楽しく頑張れる」と頬を緩ませます。そんな杏音さんの背中を追う、現在日本ランキング5位の斗葵さんは「練習でたくさん転んだ方が上手になる。今年の日本シリーズ岩手大会は2位だったので、1位になることが目標」と意気込みます。

2人を一番近くで見守ってきた父親の一成さんは「転倒して怪我をすることやジャンプに挑戦することなど、BMXは恐怖心との戦いです。恐怖心に打ち勝って、技術を磨き努力を重ねてほしい」と激励しました。今後の2人の活躍に目が離せません。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室 ☎ 27-8463 または市のホームページからご連絡ください



せと けんしん
瀬戸 健心くん
(2歳)
元気いっぱい
スラスク大きくなってね!



にほんまつ ゆうま
二本松 雄海くん
(2歳)
強くたくましく優しい
男の子になるうね☆



こんの ゆうな
金野 佑和ちゃん
(3歳)
大きく元気に
育っていきこうね♡



釜石市LINE公式アカウント

